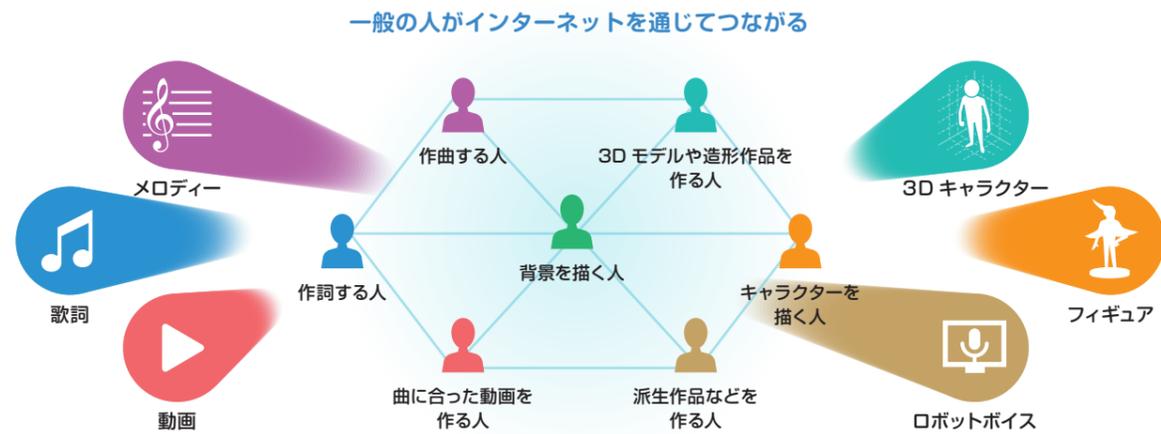


12 善意にあふれるネット社会を広げよう

インターネットの良いところは、情報やデータをととも速く多くの人に広められること、そしてたくさん集められることです。この力をうまく使えば、今までなかったアイデアを実現したり、より良い社会を作り出したりすることができます。

ネットを通じた共創活動(コラボ)

CGのキャラクターに楽曲を歌わせる音声合成技術や、パソコンだけでも音楽制作できるDTM技術は、インターネットと融合することで一大ブームを起こしました。多くの人々がネットを通して協力することで、これまでにない素晴らしい作品がたくさん生み出されたのです。



住む場所や言語の垣根を越え、人々がネット上で力を合わせてひとつの作品を生み出す

クラウドファンディング

クラウドファンディングとは「群衆」(crowd)と「資金調達」(funding)を組み合わせた造語で、ネットを通じてたくさんの人たちから少しずつ投資してもらおう仕組みのことです。募金と同じように小さな金額がたくさん集まることで、「いいアイデアだけど資金が調達できなかった」ものが実現できたり、これまでにない新しいものが生み出せたりするチャンスが広がっています。



クラウドファンディングの種類

寄付型：
いわゆる募金活動と同じで、援助した人は見返りを求めない。

購入型：
一定数(目標金額等)に達すると、何らかの物やサービスが援助した人に還元される。

投資・融資型(ソーシャルレンディング)：
銀行や証券会社の金融商品と同じで、援助した人に元金と利息が還元される。同様にファンドに投資して分配金が還元される「ファンド投資型」や、株式に投資することで配当金や売買益が還元される「株式投資型」もある。

SNSで災害救助

大きな災害が起きて電話が使えない、移動ができないような状況で、SNSが活躍しています。新しい情報を手に入れるツールとしてはもちろん、救助を求めるツールとしても活用されています。

Twitterで緊急救助を求める場合

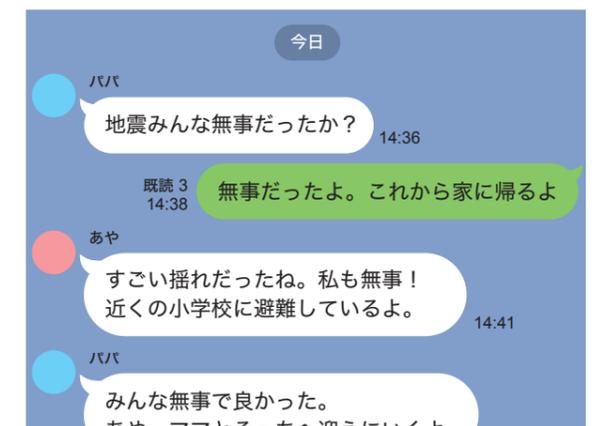
#救助 ハッシュタグとともに要請内容、写真、住所または位置情報など、具体的かつ正確な情報を付けましょう。救助が完了したら、報告ツイートするとともに、救助要請ツイートを削除してください。



出所：Twitter ライフライン
URL：<https://twitter.com/TwitterLifeline>

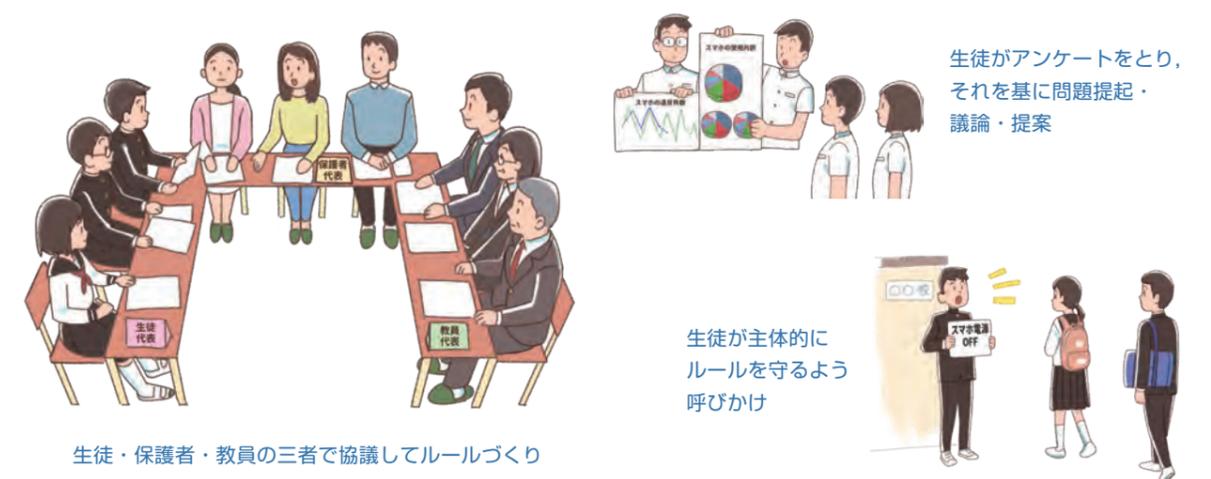
LINEを緊急時の情報伝達手段とする場合

コミュニケーションアプリ「LINE」は、インターネットが繋がっていればどこでも利用できることから、緊急時のホットラインとして活用できます。相手が緊急事態で返信できなくても、メッセージが読まれるだけで安否を確認できる「既読」マーク機能や、テキストを更新して自分の現状を伝えられる「ステータスメッセージ」機能、住所と地図を送り自分や家族の被災状況を連絡できる「位置情報」機能など、緊急時に役立つさまざまな機能が実装されています。



ネットモラル自治

自分たちが使う携帯電話・スマートフォンのルールを自分たちで決め、守っていく取り組みが行われています。



生徒・保護者・教員の三者で協議してルールづくり

生徒が主体的にルールを守るよう呼びかけ

生徒がアンケートをとり、それを基に問題提起・議論・提案

ネットで広がる善意には他にどのようなものがあるか調べてみましょう